

2021年度薬学部FD委員会活動報告

1. 薬学部FD・SDフォーラム

第1回と第2回のFD・SDフォーラムをそれぞれ4月5日と9月2日に開催した。対象の教職員の参加率はそれぞれ94.8%と98.7%と極めて高かった。本フォーラムでは、2021年度における薬学部の課題や学部運営の方針等が示され、これらに基づき教員は教育力を向上させ事務職員と連携して円滑な教育体制のもとに学部運営を行っている。

2. 授業アンケートおよび授業アンケートを活用した教員表彰

前期および後期に実施されたwebによる授業アンケートに関して、薬学部の科目担当教員に、学生の自由記述欄に記載されたコメントに対してweb上で回答するよう依頼した。また、薬学部FD委員会にて制定した内規に基づき2020年度の授業アンケートを活用した教員表彰を行った。さらに2021年度についても同様に被表彰者を決定した（2022年度第1回薬学部FD・SDフォーラム内にて表彰予定）。

3. 薬学部FDワークショップ

医療を取り巻く環境や薬剤師に対する社会からのニーズは刻一刻と変化しており、このような変化に対応するには、学習者の「生の声」を収集し、必要な教育方略の改訂を提案・実施していく必要がある。このような背景を鑑み、今年度はFD活動として、卒後数年の卒業生十数名を交え、「摂南大学薬学部で学んで役立ったこと」「もっと必要だと感じた点」などについて議論し、社会からのニーズにマッチした、より学習効果の高い教育方法を考える本ワークショップを企画し、2021年11月13日（土）に開催した。今回のFDワークショップは新型コロナウイルスの感染拡大状況が事前には見通せず、オンライン開催となりましたが、この機会を従来から懸案となっていた「学習者も参加するFD活動」の好機ととらえ、薬学部では初めてとなる“卒業生”を交えてのワークショップとなった。当初、「教員が多くいる中で少数の卒業生は発言しにくいのではないか」など懸念材料が多くあったが、参加した卒業生からは母校の発展のため積極的かつ建設的な意見が得られ、非常に有意義なワークショップが開催できた。

以上